

技能五輪アジア大会について

- 技能五輪アジア大会は、原則22歳以下のアジア地域の青年技能者を対象に、幅広い職種の技能競技を通じ、参加国・地域の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的に原則隔年で開催。ワールドスキルズアジア（略称WSA・本部UAE）により運営されており、第1回大会は2018年11月にUAE・アブダビで開催。WSAには、28か国・地域が加盟（2025年4月時点）しており、日本は中央職業能力開発協会（JAVADA）が加盟。
- 直近では、2022年にマレーシア・クアラルンプールで開催予定だった第2回大会は、新型コロナの影響により2023年に延期になったが、同地での開催は中止となり、2023年11月にUAE・アブダビで開催。次回は2025年11月に台湾・台北で開催予定。

第3回大会の概要

- 日程：2025（令和7）年11月27日（木）～29日（土）
- 競技会場：南港エキシビションセンター（台北市）
- 参加者数：383名（8月8日登録時点）
- 競技職種：36職種（公式職種）

建設・建築系（7）：れんが積み、電気、左官、冷凍空調技術、デジタルコンストラクション、家具、建具
アート・ファッション系（4）：洋裁、グラフィックデザイン、3Dデジタルゲームアート、フラワー装飾
情報通信系（7）：クラウドコンピューティング、サイバーセキュリティ、ITネットワークシステム管理、
業務用ITソフトウェアソリューションズ、モバイルアプリケーション開発、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン
製造エンジニアリング系（10）：機械製図CAD、溶接、自律移動ロボット、電子機器組立て、
ネットワークシステムインテグレーション、工業デザイン技術、メカトロニクス、工場電気設備、
CNC旋盤、CNCフライス盤
サービス系（5）：西洋料理、ビューティーセラピー、レストランサービス、美容/理容、看護/介護
運輸系（3）：自動車工、車体塗装、自動車板金

